

大阪工大通信 およど

みらいをつくる つたえる まもる。
大阪工業大学
OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

編集・発行/学生部学生課

〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1

E-mail: OIT.Gakusei@joshu.ac.jp

Tel: 06-6954-4651 Fax: 06-6951-7760

およどWebsite (本号をはじめバックナンバーをアップ)
<http://www.oit.ac.jp/japanese/public/magazine.html>

OIT Website ▶ <http://www.oit.ac.jp>

大阪工業大学通信

およど No.262

2018年10月

第68回 関西吹奏楽コンクール

復興のハーモニー (兼第66回全日本吹奏楽コンクール関西予選)
主催 関西吹奏楽連盟・朝日新聞社

関西吹奏楽連盟

朝



ウィンドアンサンブル

「大阪府吹奏楽コンクール」で

金賞受賞、

「関西吹奏楽コンクール」に
初選出され、銀賞受賞!

CONTENTS

P2~3 学園祭特集「城北祭」「茶屋町祭」「北山祭」

楽しさ満載!みんなで盛り上げよう

P4~7 プロジェクト・クラブ 夏の活躍

学生プロジェクト(ロボットプロジェクト・ソーラーカープロジェクト・

学生フォーミュラプロジェクト・人力飛行機プロジェクト)が大会・コンテストで活躍!!

P8 被災状況・安否確認システムについて

ボランティア・Linkの活躍

工大流就職支援『実就職率ランキング』で全国第4位にランクイン

2018
10/26(金)
10/28(日)

shirokitasai

城北祭



ホームページ <http://shirokitapost.wixsite.com/shirokitasai>
 ツイッター [@shirokita-fes](https://twitter.com/shirokita-fes)
 城北祭連絡先 06-6953-8770

第70回を迎える伝統ある城北祭を今年も開催できることを心から喜ばしく思います。日頃からご支援いただきました大学関係者の皆様、OBの皆様、参加いただいた皆様に、深く感謝申し上げます。今年の城北祭のテーマ「Flower ～色とりどりの花を咲かせよう～」には、笑顔が「花」という意味に捉え、城北祭実行委員会などの運営する側はもちろんのこと、模擬店に参加している各団体の方々、来場されるすべての皆様、一人一人の笑顔で、第70回城北祭がたくさん「花」で溢れるように、という思いを込めております。

ピロティでは様々な団体によるステージパフォーマンス、体育館アリーナではチャリティーアーティストライブ、吉本お笑いライブ、チャリティー声優トークショー、そして各館内ではお化け屋敷やお子様企画、各クラブ団体の展示発表など、たくさんのプログラムがあり、どんな方でも楽しめること間違いなしです!!ご家族やお友達をお誘いの上、ご来場お待ちしております。

※アーティストライブおよび声優トークショーは、2016年10月に本学体育会体操部の練習中に鉄棒から落下して大怪我を負った西尾直馬さんの復学支援に役立てるため、チャリティーイベントとして開催いたします(チケット代金の収益全額を支援募金に寄付)。

城北祭 スケジュール

※各イベントの実施日時は変更する可能性があります。

10/26
金

時間	イベント名 (場所)
9:00~18:00	ソフトボール大会 (淀川河川敷第3・4グラウンド、雨天中止)
11:50~12:50	ストリートダンスショー (7号館東側ピロティステージ)
13:00~13:30	コーラス部合唱 (7号館東側ピロティステージ)
14:00~17:00	バンド系クラブによるライブ (7号館東側ピロティステージ)

10/27
土

時間	イベント名 (場所)
11:00~11:30	ウインドアンサンブル演奏 (7号館東側ピロティステージ)
11:00~12:00	吉本お笑いライブ (体育館アリーナステージ)
12:00~12:30	ジャグリングクラブ (7号館東側ピロティステージ)
13:00~13:30	ホームcomingパーティー (7号館東側ピロティステージ)
13:30~15:00	カレッジフェスタ&OITコレクション (7号館東側ピロティステージ)
15:20~17:00	アームレスリング大会 (7号館東側ピロティステージ)
16:00~17:00	チャリティー声優トークショー (体育館アリーナステージ)※有料

10/28
日

時間	イベント名 (場所)
11:00~12:00	のど自慢大会 (7号館東側ピロティステージ)
12:00~12:50	OCF軽音楽部4周年ライブ (7号館東側ピロティステージ)
13:20~14:10	書道パフォーマンス (7号館東側ピロティステージ)
13:45~14:30	ピンゴ大会 (コンビニエンス)
15:00~16:30	演武祭 (7号館東側ピロティステージ)
15:00~16:45	チャリティーアーティストライブ (体育館アリーナステージ)※有料

10/26(金) 11:30~17:30
 10/27(土) 10:00~17:30
 10/28(日) 10:00~17:00

- お化け屋敷(多目的室2,3)※土日のみ
- 教室展示(工学祭・芸術祭含む)
(1・6・7・8号館、ルラージュ・淀比スタなど)
- 模擬店(7号館西側ピロティ、西中庭)
- 幼稚園児招待(多目的室等)

Schedule

10/27(土)
11:00~12:00
藤崎マーケット
からし蓮根
ジュリエッタ

吉本お笑いライブ(観覧無料)

開催場所 ▶ 体育館アリーナステージ
 毎年大人気の吉本お笑いライブを今年も開催!!今回は城北祭2日目に「ジュリエッタ」「からし蓮根」「藤崎マーケット」の3組が出演予定!目の前で笑いを体感しよう!



ジュリエッタ



からし蓮根



藤崎マーケット

城北祭実行委員会
委員長
徳田 誠司

10/27(土)
16:00~17:00
伊藤かな恵さん

チャリティー声優トークショー

有料

開催場所 ▶ 体育館アリーナステージ
 チケット料金 ▶ 学外1,500円、学内1,000円

今年は人気声優の伊藤かな恵さんにお越しいただきます!
ぜひご来場ください!!

伊藤かな恵さん

出演作品

僕は友達が少ない(柏崎星奈 役)
 ソードアート・オンライン(ユイ 役)
 とある科学の超電磁砲(佐天涙子 役) など



10/28(日)
15:00~16:45
ドラマチックアラスカ
シナリオアート

チャリティーアーティストライブ

有料

開催場所 ▶ 体育館アリーナステージ
 チケット料金 ▶ 学外・学内一律500円

【ドラマチックアラスカ】
 ドラマチックアラスカは今年でデビュー5周年の神戸発のギターロックバンド。
 Vo.ヒジカタの伸びやかなハイトーンボイス、心掴むメロディセンスと、これぞ王道といえるギターロックが彼らの持ち味。感情ほとばしるアグレッシブなライブも見応えあり。



ドラマチックアラスカ

【シナリオアート】 シナリオアート

シナリオアートは来年で結成10周年を迎えるにあたり、今年7月に事務所を独立し新たな道に進み始めた男女ツインボーカルのスリーピースバンド。ほかのバンドにはない「ファンタジー」を生み出し、その世界観で夢中にさせてくれる今注目のバンドです。



2018
11/3
土祝

chayamachisai 茶屋町祭

梅田キャンパスの学園祭「茶屋町祭」の今年のテーマは「OIT WORLD」です。このテーマには「大阪工業大学ならではの独自性を保ちつつ様々なジャンルに挑戦したい!」という茶屋町祭実行委員会の思いがこもっています。

今年は昨年度大人気だったゲストイベントやRDクラブの発表会だけでなくキャンパスのある「茶屋町」と地域連携し、より梅田キャンパスらしさを前面に出した企画も計画中です。今年で2回目を迎えた茶屋町祭は、実行委員一同知恵を絞り、お客様に満足いただけるよう進化を続けていきます。皆様のご来場をお待ちしています!

吉本お笑いライブ(無料・定員有)

開催場所 ▶ 3階常翔ホール

※9:30より3階常翔ホール前で整理券を配付します。

11:00~11:45
10:30開場



ラニーノーズ

祇園

14:00~15:00 声優トークショー

13:30開場
新井 里美さん

有料

出演作品

「とある魔術の禁書目録」「とある科学の超電磁砲S」(白井黒子 役)
「Re:ゼロから始める異世界生活」(ベアトリス 役)
「ハイスコアガール」(矢口なみえ 役) など



新井 里美さん

開催場所 ▶ 3階常翔ホール

チケット料金
学外: 1,500円
学内: 1,000円

茶屋町祭実行委員会
委員長
安心院 昇吾

企画一覧

- 各研究室による研究発表 (1階ギャラリー)
- RDクラブによる成果発表 (8階RDC)
- お化け屋敷やアドベンチャーゲーム等の各企画 (各教室等)
- 課外活動団体による展示や企画 (各教室等)
- 有志団体による手作りアクセサリー等の販売 (各教室等)

地域連携!

「梅田東コミュニティ会館 (梅田キャンパス向かい)」で縁日を同時開催!

ホームページ

<https://chayamachipost.wixsite.com/mysite>

ツイッター

<https://twitter.com/oit-chayamachi>

茶屋町祭連絡先

080-6196-2254

kitayamasai 北山祭

2018
11/3
土祝

北山祭実行委員会
委員長
國枝 佑介

ホームページ

<http://oitkitayamasai.net/>

北山祭連絡先

080-3104-9284

今年度の北山祭のテーマ「悠笑(ゆうしょう)」には、来場者の方がずっと笑っていただけるような、今年度の北山祭で一番良いつまり「優勝」と思えるような北山祭にしたいという意味が込められています。毎年恒例の吉本お笑いライブには、「アキナ」「女と男」2組のお笑い芸人が来ます。さらにヒーローショーやアーティストライブ、大道芸人によるパフォーマンスなども企画しています。その他にもピンゴ大会や、模擬店、フリーマーケットなど楽しめるイベントを多数用意しておりますので、11月3日(土・文化の日)は、ぜひ北山祭にご来場ください!

北山祭スケジュール

※イベント内容や時間は都合により変更となる場合があります。

時間	ステージ (学生駐車場)	学生駐車場	食堂・談話室
9:45~	開祭式	フリーマーケット・模擬店	
10:00~	ヒーローショー		Oh!ITカーニバル
10:35~	ウインドアンサンブル		
11:10~	大道芸人		
11:45~	ジャグリングクラブ		
12:30~	アーティストライブ(宇都直樹)		
13:15~	アーティストライブ(FUN RUMOR STORY)		
13:50~	ヒーローショー		
14:25~	ストリートダンス部		
15:00~	吉本芸人お笑いライブ		
16:00~	ピンゴ大会	(16:30まで)	(16:30まで)
17:00~	閉祭式・表彰式		

Oh! ITカーニバルを開催します!

情報科学部の研究内容・成果が一目でわかるOh! ITカーニバルを今年度も開催します。各研究室ブースでは教員・学生が研究内容をわかりやすく解説します。また実際に触れて体験できるブースもあり、毎年大勢の来場者で賑わっています。そして、研究室ブースを3つ回ると模擬店で使える金券300円相当がもらえるスタンプラリーを今年度も開催します。子どもから大人まで楽しめるブースを多数用意しておりますので、北山祭当日はぜひご来場ください。



第22回北山祭は 充実のステージイベント

今年度も、仮面ライダーのヒーローショー、アーティストライブを実施します。また、吉本芸人お笑いライブには「アキナ」「女と男」が出演し、笑いの渦が巻き起こること間違いなし!すべて観覧無料です。その他にも、毎年恒例の200店舗が集まる巨大フリーマーケットや、模擬店、北山祭イベントなど、皆さんに楽しんでいただけるイベントを多数用意しておりますので、ご家族お誘いのもとぜひお越しください。



ヒーローショー



アキナ



宇都直樹



女と男

ロボットプロジェクトが「inrevium杯 第18回レスキューロボットコンテスト」で3つの特別賞を受賞

8月11日、12日に神戸サンポーホール(神戸市中央区)で開催された「inrevium杯 第18回レスキューロボットコンテスト」に本学ロボットプロジェクトチーム「大工大エンジュニア」が出場し、「ベストパフォーマンス賞(日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門一般表彰)」、「ベストプレゼンテーション賞」、「消防庁長官賞」の3つの特別賞を受賞しました。

このコンテストはロボットによる災害救助を題材としたもので、防災や救助活動に関する意識向上を目的に毎年開催されています。競技はチームやロボットの特長、救出方法を説明する3分間のプレゼンテーションを行った後、ヘリテレ(俯瞰カメラ)から届く映像を解析する作戦会議を経て、制限時間内に被災地を模擬したフィールド内から、要救助者に見立てた人形「ダミヤン」3体の救出を行います。

本学チームは、初日のファーストミッションで3体全てのダミヤンを救出することに成功。上位6チーム内に入る成績を残し、セカンドミッションが免除となるシード権を獲得しました。複雑な瓦礫配置で難易度が格段に上がったファイナルミッションでは、他チームが次々とミッションを失敗する中、本学のチームはフィールド内のダミヤンの位置情報などをロボット操縦者が共有できる「情報伝達システム」とロボットが自動位置調整を行う「半自動救助システム」を駆使し、

普段の練習以上の力で2体のダミヤンを救助することに成功しました。

競技終了後、審査員から「実際の災害現場を想定したレスキューアイデア、高い水準で安定したレスキュー技術に加え、チームが実現しようとしたレスキューへの姿勢が何より素晴らしい」とコメントを受け、過去最多となる3つの特別賞を受賞しました。

今後、彼らの素晴らしい技術が、実際の災害現場で活躍することを期待します！



表彰式後、プロジェクトメンバーでの集合写真

ロボットプロジェクトが 「NHK学生ロボコン2018」に出場！

6月10日、「NHK学生ロボコン2018～ABUアジア・太平洋ロボコン代表選考会～」が東京都で開催され、本学ロボットプロジェクト「大工大エンジュニア」が出場しました。

予選リーグは九州大と京都工芸繊維大との対戦。強豪の京都工芸繊維大とは、逆転に次ぐ逆転で一瞬も目を離せない展開で試合が進みましたが、最後に本学チームが放った一投が、無情にもわずかに標的の枠を外れたところでタイムアップとなり、惜しくも敗れ、予選リーグ敗退が決まりました。

リーダーの今村達哉さん(R3)は「納得できる成績を残せず、悔しいです。レベルアップして、また必ずこの場に戻ってきます。」と話し、来年の大会に闘志を燃やしていました。



「ロンバイ」をかけた第2試合、最後の投てき

プロジェクトメンバー全員で戦いました

ソーラーカープロジェクトが 鈴鹿大会で3位入賞！！

8月3日、4日に三重県の鈴鹿サーキットで開催された「FIA Electric & New Energy Championship ソーラーカーレース 鈴鹿2018」のオリンピッククラスに本学ソーラーカープロジェクトの「TEAM REGALIA」が出場しました。

オリンピッククラスは企業チームも参戦する5時間耐久レースで、本学はチームリーダーの北村翔太郎さん(M3)をはじめとする3人をドライバーに起用。彼らの奮闘が実り、白熱した展開の中、見事3位入賞に輝きました。その瞬間、喜びが爆発しメンバー同士が抱き合い、嬉し涙を流す学生も。

北村さんは「大会で先輩方のマシン理論の正しさを証明できました。来年は今年以上の成績を目指し後輩たちをサポートします」と語り、今後の活躍を誓っていました。



念願の表彰台！

学生フォーミュラプロジェクトが「全日本学生フォーミュラ大会」で特別賞を受賞

9月4日～8日にかけて、静岡県袋井市のエコパ(小笠山総合運動公園)で開催された「第16回全日本学生フォーミュラ大会」に本学学生フォーミュラプロジェクト「TEAM REGALIA」が出場し、「日本自動車工業会会長賞」を受賞しました。本大会は、安全性等を審査する「車検」、作製コストやデザイン、車両の優位性のプレゼンテーションを評価する「静的審査」と、走行性能や燃費などを評価する「動的審査」の合計得点で争います。天候急変により、多くのチームがマシントラブルを起こす中、本学は98チーム中41位の成績でフィニッシュするも、目標の昨年度の23位は超えられませんでした。来年、決意を新たに上位入賞を誓う「TEAM REGALIA」に熱い応援をお願いします。



無事に大会を終え、笑顔がこぼれるメンバーら

高い旋回性能でコースを疾走する本学マシン



工作・実験フェア2018を開催

8月11日、大宮キャンパスで「工作・実験フェア2018」を開催しました。

本フェアは本学の教員や学生が、地域の小学生のみなさまに工作・実験を体験してもらうことで「理科好き」「工作好き」の子どもたちを育てようと企画、実施した催しで、今年で10年目を迎えました。

当日は、91の体験プログラムを用意し、7,000人を超える小学生とご家族のみなさまにご来場いただきました。工作や実験に取り組む子どもたちの真剣なまなざしや、たくさんの笑顔がこちらで見られ、本学ならではのプログラムに触れていただく1日となりました。



ボード紙で作る未来のおうち



液体窒素を使った実験



「知的財産研修」を新しく開講しました

知的財産学部では、今年度から夏期集中講義期間に「知的財産研修」を開講しました。

昨年までは、1年生を対象に「会社訪問プロジェクト」として実施してきました。これは、希望者を募って、企業数社を訪問し、知的財産がいかに保護・活用されているか、知財ご担当者の生の声をお聞きして、知的財産を学ぶことの意義を認識し今後の学修に生かそうという趣旨でした。

今年からはこの活動をさらに充実させ、正規科目としました。8月はパナソニック、オムロン、芦森工業、神戸税関、ダイキン工業、9月はアシックス、ハードロック工業、サクラクレパス、白光等を訪問し、知財業務についてお話を聞いたり、工場を見学させていただきました。約20名が履修し、力のこもった研修レポートが寄せられています。



オムロン株式会社
コミュニケーションプラザ見学



七夕祭り・ミニコンサートを開催しました

情報科学部では、6月26日から7月7日まで1号館エントランスで「七夕祭り」を開催しました。期間中は用意していた短冊がすべてなくなり、追加での用意が必要になるほど、たくさんの学生が各々の思いや願い事を短冊にしたため、笹に託していました。カラフルな短冊に彩られ、一層華やかなエントランスになりました。

また、7月4日にはウィンドアンサンブルによる初夏のミニコンサートを開催。たくさんの短冊が飾られた笹に見守られながら、華やかな演奏を行いました。



ウィンドアンサンブルによるミニコンサート



OITサマーキッズカレッジを開催しました

8月25日、梅田キャンパスにて「OITサマーキッズカレッジ」を開催しました。

本イベントはロボティクス&デザイン工学部のミッションである“知識や技術に加えて人間力を高める教育により社会の課題解決に取り組む人材を育成する”に基づき、「新しい学びの体験や気づき」を地域のみなさまに体感いただくために学生スタッフを中心に企画しました。

当日は、初開催にも関わらず小学生とその家族を含め950人の方にご来場いただき、用意された26のプログラムを体感いただきました。夏休み最後の週末に目を輝かせて次々とチャレンジする子どもたちの笑顔がはじける一日となりました。



自分でプログラミングしたレゴロボットカーに大歓声



本物のクワガタを見ながらスケッチ

外国人留学生が和歌山県の伝統工芸や世界遺産に触れました！

9月20日、本学に在籍する外国人留学生と教職員等総勢43人が留学生見学会に参加しました。この見学会は、外国人留学生がさまざまな体験を通して日本文化や歴史などを学ぶ目的で毎年実施しており、今年は和歌山県を訪れました。

まずは、日本三大漆器の一つとして600年以上に亘り同県海南市を中心に生産されている「紀州漆器」の蒔絵体験に参加しました。講師による説明を受けたのち、参加者は予めデザインが施された丸盆に接着剤を塗り、金銀などカラフルな金属の7種類の粉を絵付けする蒔絵を体験。各々独創性に富んだ素敵なお盆が完成しました。

和歌山マリナーシティで昼食を済ませたあと、高野山を訪れました。ガイドによる案内のもと、弘法大師が入定されている奥ノ院を参拝し、真言密教のシンボルとして816年から817年ごろに完成したと伝えられている根本大塔を見学しました。

当日は、あいにくの雨に見舞われましたが、この見学会を通じて、

留学生同士の交流が一層深まり、日本の伝統文化や歴史を体感することができました。今年で4回目の参加となる工学部の留学生からは「毎年、行き先が異なり、それぞれの地で独自に発展した文化や歴史などを現地に赴き学んでいます。さらに、この見学会は別のキャンパスに在籍する留学生と交流できる機会として、他の留学生と親睦を深めることができ嬉しいです。」と感想が寄せられました。



真剣な眼差しで蒔絵にチャレンジする留学生。



根本大塔をバックに記念撮影！

理想的なフライトで飛行距離を伸ばした
「Umeda Lab.」の機体

第41回鳥人間コンテスト2018

7月28日、滋賀県彦根市の松原水泳場特設会場で開催された読売テレビ主催 Iwataniスペシャル「第41回鳥人間コンテスト2018」に本学の人力飛行機プロジェクトが人力プロペラ機部門に、本学OBチーム「Umeda Lab.」が滑空機部門に出場し、滑空機部門で3位入賞を果たしました。

昨大会出場を果たせず悔し涙を飲んだ同プロジェクトOBメンバーで構成したチーム「Umeda Lab.」は同部門3位となる234.64mを記録。昨年の悔しさを晴らす見事な成果を残しました。

現役学生で構成された同プロジェクトチームは、人力プロペラ機部門に出場しました。たくさんの応援サポーターが見守る中、スムーズなテイクオフを決め、安定した飛行が期待された矢先、機体の右翼部分が折れ、111.83m地点で着

水しました。その後、悪天候のため人力プロペラ機部門は中止となり、競技不成立となりました。

1年間同プロジェクトチームを率いたリーダーの小代凌平さん(M3)は「現役メンバーだけでなくOB、大学関係者の皆さんにご支援いただき、夢であったプラットフォームに立つことができました。飛行距離は伸ばせませんでした。私自身、すごく満足しています」と晴れやかな表情で感想を話してくれました。

両チームのフライト終了後には、応援に駆けつけた応援サポーターからメンバーの健闘と1年間の努力を称える温かい拍手が送られました。



機体の最終調整に取り組むメンバーに指示を出す小代さん

悲願の決勝レース進出!漕艇部が全国に挑んだ夏!

9月6日～9日、ボートの聖地である戸田ボートコースで開催された第45回全日本大学選手権大会に本学からは男子舵手付きフォア、女子シングルスカルにエントリーしてレースに挑みました。

本学漕艇部のエースクルーである対校フォアは新艇Allegro(アレグロ)でレースに挑み、男子舵手付きフォアでは創部初、悲願の決勝レースに進出し8位入賞を果たしました。

舵手付きフォアは、4人の漕手と1人の舵手でチームを組み、通称コックスと呼ばれる舵手がレース展開に応じて漕手に指示や檣を飛ばして試合に挑むため、ク

ルー5人の信頼関係がレースの結果を大きく左右します。

クルーリーダーの大島仁志君(E3)は、「今回のメンバーは練習のタイムがよくて決勝レース進出の手応えはありました。これまでの考え方を一新して練習に取り組んだ成果が発揮できてよかったです。何よりも現役を続けてくれて一緒にレースに挑んだ4回生コックスの黒岩さんの熱い気持ちがメンバーに伝わり、気持ちが一つになりました!」と興奮冷めやらぬ口調で感想を語ってくれました。

今年で60周年を迎える同部の歴史に、新たな1ページを刻んだ漕艇部の活躍に今後も大注目です!



レースに勝利し、喜ぶ選手たち



表彰式後のAllegroメンバーでの集合写真

Club pick up!

文化会本部が 安全講習会を開催

9月18日～19日、文化会本部は文化系クラブ生を対象とした安全講習会を大宮キャンパスで開催しました。この講習会は、クラブ活動中に起こりうる突発的な心肺停止の対処法などを学ぶために毎年実施しています。

講習会では、大阪消防振興協会から講師をお招きし、約30名のクラブ生はビデオ講習を受けた後、AEDを使用しながら胸骨圧迫、人工呼吸の実技訓練を行いました。講習会終了後、受講したクラブ生には「普通救命講習修了証」が交付されました。



実技に取り組むクラブ生たち

チャリティーイベントで 季節の野菜と果物を販売! 22万円の募金が集まりました!

7月7日、千林ふれあい館(千林商店街内)で「体育会本部」・「文化会本部」・「ボランティア・Link」・「体操部」・「硬式野球部」の学生がチャリティーイベントとして、季節の野菜と果物を販売しました。

この活動は、体操部の練習中に鉄棒から落下して大怪我を負った西尾直馬さん(IN3)の復学を支援するためのもので、売上金額の22万円は全て、西尾さんに寄付します。

当日は、多くの地域の方々をはじめ、教職員・学生の皆さんにもたくさんの野菜と果物をご購入頂き、大盛況のなか完売で終えることができました。チャリティーイベントにご賛同頂いた皆様、誠にありがとうございました。

今後も継続して募金活動を行います。引き続き皆様の温かいご協力をよろしくお願いします。



皆さまの
温かいご支援により、
完売することが
できました。

本学4クラブが第44回旭区民まつりに参加

8月25日、旭区の恒例行事「第44回旭区民まつり」に、本学文化会のウインドアンサンブル、応用化学研究部、鉄道研究部、ジャグリングクラブの4団体が参加しました。

旭区民センターで行われたプレコンサートでは、旭区の中中学校・高校に続き、最後を飾るウインドアンサンブルが「夏まつり」や「風になりたい」など計5曲を演奏しました。メイン会場の旭公園グラウンドでは、ジャグリングクラブのステージショー、応用化学研究部のスライム作り、鉄道研究部の鉄道模型の運転体験を開催し、子どもたちを中心に多くの来場者を楽しんでいただきました。各クラブの学生たちが笑顔で地域のお祭りを大いに盛り上げました。



ウインドアンサンブルが 関西吹奏楽コンクールに初出場し、 銀賞を受賞!

8月12日に大東市立総合文化センターで「第57回大阪府吹奏楽コンクール」(以下、大阪府大会)が開催され、文化会ウインドアンサンブル(音楽監督：高木宏之氏)は金賞を受賞し、さらに上位大会である「関西吹奏楽コンクール」(以下、関西大会)への出場権を初めて獲得しました。(「大阪府大会」は「関西大会」の予選を兼ねています)

8月19日にひこね市文化プラザで開催された「関西大会」には8大学が出演。本学ウインドアンサンブルの部員達はこれまで経験したことのない緊張感の中、課題曲Ⅱ「マーチ・ワンダフル・ヴォヤージュ」、自由曲「吹奏楽のための交響的断章」を演奏。客席からは多くの歓声と拍手が沸き起こり、銀賞を受賞することができました。

昨年、大阪府大会で初めて金賞を受賞。今年は金賞のみならず、念願の関西大会に出場することができました。文化会ウインドアンサンブルは音楽監督の高木宏之氏の指導のもと、来年は関西大会での金賞受賞や全国大会出場を目指します。今後も是非ご声援をお願いします。

【クラブの部長からメッセージ】

ここまで成長できたのは大学職員の方々、OBやOGの方々、そして保護者の方々のおかげです。いつも指導してくださる高木先生をはじめ、運営や練習で協力してくれた幹部や部員のおかげでこのように賞をいただくことができました。これから一つ一つの本番を大切に、応援してくださる方に恩返しができるよう頑張ります。そして来年は今年よりもより良い演奏ができるようまた来年に向けて取り組んでいきます。

ウインドアンサンブル 部長 谷口 朋也



学生相談室 だより

『月の錯視』

学生相談室 カウンセラー 山下 彩

月の錯視(Moon illusion)とは『地平線に近い月がより高く昇った月より大きく見える錯視である。古くから知られていて、様々な文明で記録されている。この錯視についての説明は未だ議論されている』(フリー百科事典 ウィキペディア日本語版から引用)というもので、れっきとした心理学用語です。円い月を空高くに仰ぐときと、地平近くに眺めるときとでは、後者の方が大きく見えます。アリストテレスに始まり現在まで多くの説がなされ、いくつか

の錯視の複合だろうとされながら、解決には至っていません。「錯視」と検索すると、心理学にまつわるものから最新アートまで様々なものが紹介されています。人の脳はたやすく騙されるものだと、悔しくも面白くもあります。一見単純なようで、現代の技術でも解明されていないことはたくさんあるのでしょう。当たり前と思っていることにも不思議が隠れています。2018年10月の満月は25日、月の出は18時ごろとのこと。忙しい手をちょっと止めて、夜空を眺めてみませんか？



被災状況・安否確認システムについて

6月から9月にかけて「大阪府北部地震」、「平成30年7月豪雨」などの自然災害があり、被害に遭われたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。今回の災害では幸いにも本学の学生・教職員への人的被害は確認されておりません。一部の学生からは建物の損壊やライフラインへの支障について報告がありました。

本学では、大規模な災害等が発生した際に、学生のみなさまに安否確認メールを配信する「安否確認システム」を導入しております。今後

安否確認システムの登録状況確認・内容変更については、学内ポータルサイト(QRコードからアクセス)の「安否確認」から行えます。携帯アプリもありますので、有効に活用ください。



QRコード「<https://www.portal.oit.ac.jp/>」



アプリ「学校専用安否確認」

も、南海トラフ巨大地震等が発生する可能性が高まる中で、災害発生時に学生のご家族が安心できるように今一度「安否確認システム」の登録状況について確認をお願いします。



ボランティア・Linkが「こども食堂」の子どもたちを<工作・実験フェア>に招待!!

8月11日、ボランティア・Link(以下、ボラリン)がサポートする「こども食堂 あのね(旭区高殿地区)」を利用している児童6名を<工作・実験フェア>に招待しました。

ボラリンは、2016年度から児童の健全育成を活動事業の柱の一つとして、本こども食堂で学習補助や配膳などのボランティアに携わっています。

今回は、ボラリン部長の前田拓樹君(K3)の企画により実現したもので、当日、同部は正門前で本こども食堂の児童や保護者と合流後、児童が参加するプログラムの会場へ案内して、一緒に「ものづくり」の楽しさに触れました。

「無線ラジコンロボットカー」の作製プログラムに参加した児童から、「楽しかった。困ったときに、顔見知りのお兄ちゃんたちが傍にいてくれたおかげで、カッコいい車を作ることができました。早く家に帰って走らせたい。」と、心を躍らせながら自作のラジコンカーを大事に抱えて帰宅の途に着きました。

今回の活動を企画した前田君からは、「子どもたちの笑顔がボラリンの原動力となっています。これからは、教育的な視点から子どもたちが

楽しみながら学べる環境も提供し続けたい」と、感想と今度の意気込みを述べてくれました。



工作に夢中の児童を温かい目で見守るボラリン部員

ウェルフェアニュース WelfareNews

「スパイシーカレーフェア販売」

スパイシーカレーフェアを開催します！

大宮キャンパスの中央食堂1階・3階、研修センター食堂では、毎年恒例の大人気スパイシーカレーフェアを行っています。

第2弾は9月27日より開催中！本格的なカレーをお楽しみください。

食堂では安価であることはもちろん、独自の安全基準をクリアした食材と手作りを基本に運営しています。今後も学生のみなさまの活躍応援や食育推進を図り、より身近な食堂となれどと考えています。皆さんのお越しをスタッフ一同お待ちしております。



工大流就職支援③

~就職NEWS~

このほど2018年3月卒業生対象の「全国240大学実就職率ランキング」が公表され、本学は実就職率97.0%で、全国4位、関西の私立大学では9年連続1位でした(「サンデー毎日」8月5日号。卒業生1,000人以上の大学)。この結果をもたらした大きな要因の一つとして、有名企業や工大生の就職実績が高い企業を年間で約700社招いて実施する「学内企業説明会」が挙げられます。参加企業の多くで本学卒業生が活躍しているので、工大生に対する採用意欲が特に高く、工大生にとって大変心強い支援行事です。参加した学生から「学内なのでリラックスして参加できた」「工大のOB-OGが同席していることも多く、詳しい話を聞くことができた」などの声がたくさん寄せられています。また、参加企業からは「説明を聞く姿勢や質問の多さから、意欲の高いたくさん学生の学生と出会えた」「持参した資料が足りなくなり熱心が伝わった」など高い評価をいただいています。本学では、秋以降も引き続き学内説明会を実施しますので、工大生はぜひこの絶好の「出会いのチャンス」を逃さないでください。就職部スタッフは、いつでも全力で工大生の就職活動を応援しています。